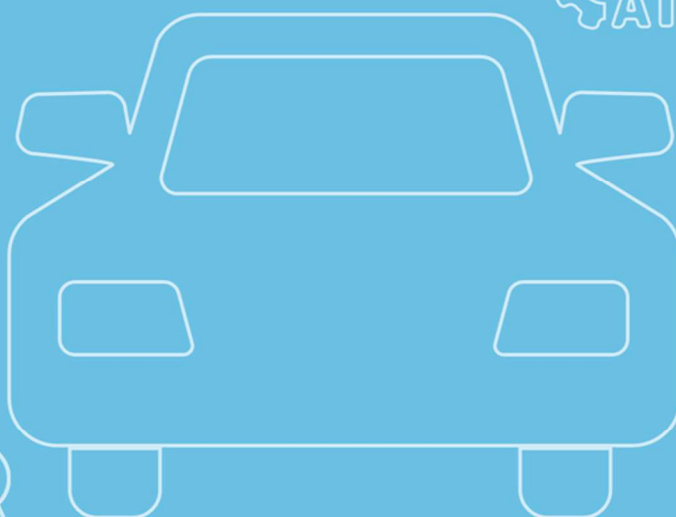
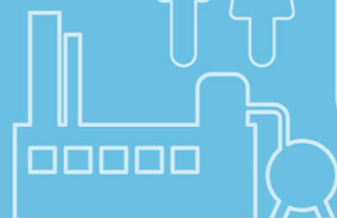
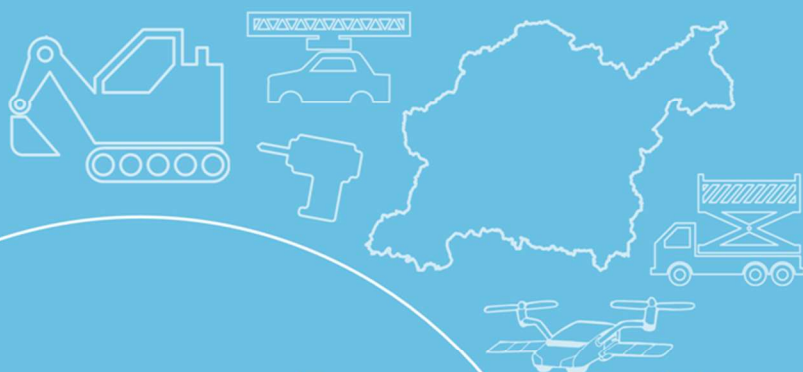


豊田市 産業振興 プラン 概要版 2025→2029

TOYOTA CITY

■ ■ はじめに ■ ■

本市では、2021 年度から「豊田市産業振興プラン 2021-2024」に基づき、「活力ある地域のミライを実現する産業都市」（以下、「前回プラン」という。）の実現に向けた取組を進めてきました。

計画期間中は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国内外で様々な制約・混乱が生じました。新型コロナウイルス感染症が 5 類へ移行した後も、産業を取り巻く環境は依然として不安定で不確実性を伴う状況となっています。

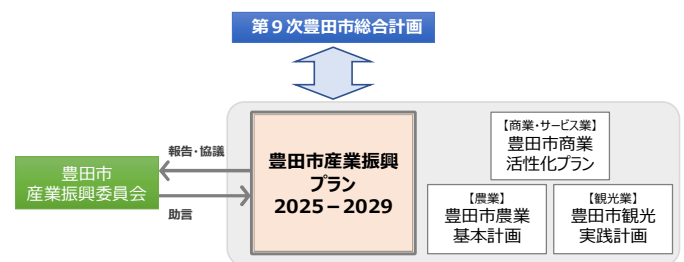
本市の産業は自動車産業を中心としたものづくり産業の集積を強みとしてきましたが、100 年に一度といわれる変革期の渦中にあるとともに、働き手の確保やデジタル化、脱炭素化など、対応すべき課題は一層多岐にわたり、かつ複層化する状況にあります。

このような状況においても、本市産業がしなやかに適応し、持続的に発展していくための指針となるべく、新たな産業振興のビジョンとして、「豊田市産業振興プラン 2025～2029」（以下、「本プラン」という。）を策定しました。

○プランの位置づけ

本プランは「第 9 次豊田市総合計画」と整合を図りながら、産業分野の更なる振興、労働分野の課題解決の実現に向けた具体的な事業を定める令和 7 年度から令和 11 年度（2025-2029）までの 5 年間の計画として位置づけます。

産業分野のうち、商業・サービス業は豊田市商業活性化プランで、観光業は豊田市観光実践計画で、農業は豊田市農業基本計画で、それぞれ取り上げるものとします。



豊田市の産業を取り巻く環境の変化	P2
豊田市の産業の現状	P3
産業の持続的発展に向けた課題	P4
豊田市産業の振興に向けた方針	P5
基本方針 1 地域産業の持続的発展	P6
基本施策 1 事業基盤の整備と強化	P6
基本施策 2 成長産業の創出	P7
基本方針 2 GX・DX の推進	P8
基本施策 3 GX へ向けた取組への支援	P8
基本施策 4 DX へ向けた取組への支援	P8
基本方針 3 人材確保への支援・多様な働き方の促進	P9
基本施策 5 産業人材の担い手確保と育成への支援・多様な人材活躍や柔軟な働き方に向けた就労支援	P9
基本方針 4 新たな事業展開の促進	P10
基本施策 6 新事業展開やイノベーション創出の支援	P10
基本施策 7 新たなプレイヤーの活躍促進	P10
計画の推進に向けて	P11

■ ■ 豊田市の産業を取り巻く環境の変化 ■ ■

○不安定さ・不確実さが高まる世界経済

近年、新型コロナウイルス感染症拡大や大国による覇権主義の台頭、各地での紛争などを要因として、エネルギーや部素材の価格高騰・不足による調達難をはじめ、世界経済の停滞・途絶をもたらすような影響の大きい事案が生じ、その不安定さ・不確実さが高まっています。

○構造転換が進む自動車産業

電気自動車（BEV）の普及、自動運転の実装など、自動車産業は大きな転換点にあるといわれています。また、ギガキャストなど新たな生産方式の導入や車載ソフトのアップデートによる機能向上など、車両の設計・生産の思想を大きく覆す動きがみられます。国内市場の動向をみると、今後、内需が低下していく兆候がみられ、これまでの収益構造から転換を図っていくことが求められます。

○新型コロナウイルス感染症の影響を経た社会変容

新型コロナウイルス感染症の拡大は、外出の自主規制をはじめ、様々な制約をもたらす一方、在宅勤務、副業、オンライン会議など多様な働き方への理解が進み、働き方に対する社会変容がみられます。

○デジタル化の進展

生成 AI やメタバースなど、新しいデジタル技術の社会実装が進み、市場拡大が続いています。また、人口減少に伴う労働力の減少が進む我が国において生産性向上を図るためには、デジタルトランスフォーメーション（DX）への取組は必須といえます。

○脱炭素化への取組

2050 年のカーボンニュートラル実現に向けては、取引関係を含むサプライチェーン全体での削減が必要となります。一方、CO₂を資源として捉えて利活用を図る CCS/CCUS への取組も進められ、ものづくり産業が活発な本市においても、積極的な取組を進め、我が国の排出削減に寄与していくことが求められます。

○少子高齢化・人口減少と価値観の変化

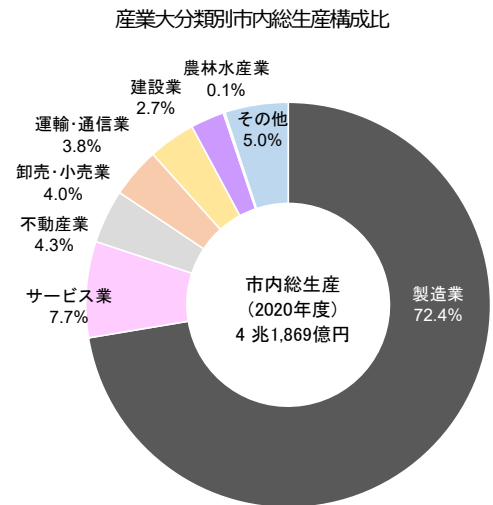
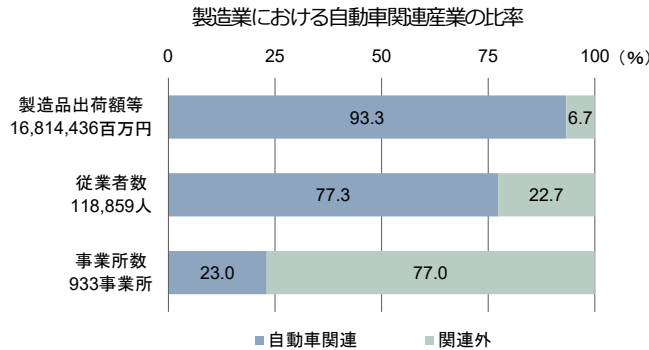
我が国では少子高齢化・人口減少が進み、それに伴い、労働力となる生産年齢人口も減少しています。また、縮小する国内市場への対応、経営者の高齢化や後継者難に伴う事業承継への対応などが求められています。一方、人生 100 年時代を背景とした多様な働き方やキャリア形成の実現、ウェルビーイングへの要請が高まっています。また、今後、デジタルネイティブである Z 世代の台頭による労働や消費に対する価値観の変化がみられます。

■ ■ 豊田市の産業の現状 ■ ■

○ 豊田市産業の現状

【自動車産業を核としたものづくりのまち】

本市の市内総生産において、製造業は7割超を占めています。製造品出荷額等は長年、全国市町村第1位であり、日本屈指のものづくりのまちとなっています。

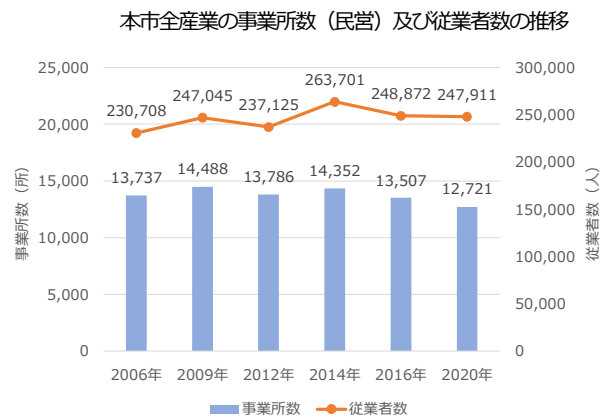


【少子高齢化・人口減少に伴う担い手不足への懸念】

本市の年齢別人口は、いわゆる団塊ジュニア世代にあたる50～54歳が男女とも最も多くなっています。一方、19歳以下の人口は男女とも年齢が下がるほど規模が小さく、少子化が着実に進行しています。

【事業所の集約】

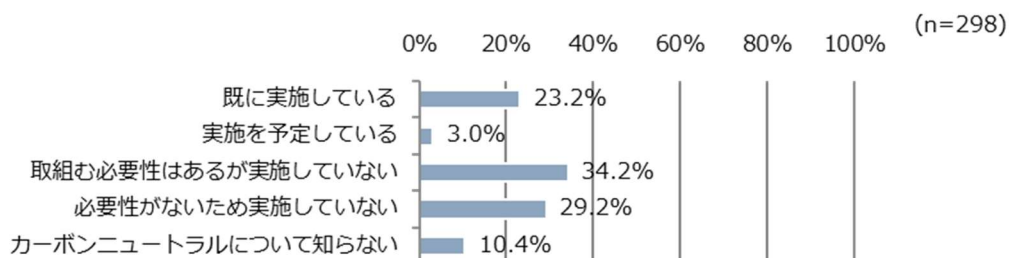
2020年の民営事業所は12,721事業所、従業者は247,911人となっています。2006年より、1,016事業所が減少する一方、従業員数は17,203人増加しており、事業所の集約が進んでいることがうかがえます。



【カーボンニュートラルへの取り組み】

市内中小企業製造業者のうち、カーボンニュートラルに向け「既に実施している」割合は2割程度に留まり、「知らない」とする事業者が1割存在しています。カーボンニュートラルへの取り組みは少しずつ前進しているものの、一層の推進が求められます。

事業活動に伴うカーボンニュートラルに係る取組



■ ■ 産業の持続的発展に向けた課題 ■ ■

【課題1】生産性・競争力向上に向けた企業変革の推進

我が国の企業の実産性は先進国の中で最も低いことが指摘され、その向上が求められています。また、企業の責務としての脱炭素化への要請が一層高まり、企業単体のみならず、サプライチェーン全体で取り組んでいくことが求められています。

本市の事業者においても、生産性向上や脱炭素化に向けた戦略的な取組の一層の推進が求められ、デジタルトランスフォーメーション（DX）やグリーントランスフォーメーション（GX）の推進を担う人材確保・育成等を図るとともに、生産性や競争力の向上を図っていくことが求められます。

【課題2】市内事業者の活動を支える働き手の確保

本市においては、中小事業者を中心に慢性的な人手不足の状況にあるところも多く、これまで以上に人材確保が難しくなることが見込まれます。本市の特性を生かしながら、多様な働き方ができる職場環境の整備や就業機会の提供を図り、人材不足や採用難へ対応していくことが求められます。

【課題3】新たな「モビリティ」社会へのしなやかな対応

本市は自動車産業をはじめとした世界有数のものづくり産業の集積地ですが、大手自動車メーカーを頂点とした垂直統合型の産業構造が特徴となっています。近年、自動車産業においては、100年に一度の変革期といわれるような厳しい競争環境となっています。特に、カーボンニュートラルの実現に向けて、様々な動力源への取組が進められています。現在、BEVの普及がやや先行していますが、水素エンジンの開発が進められるなど、今後の社会経済情勢や技術開発動向によっては、新たな動力源が本命となる可能性もあり、市内事業者においても、その動向に柔軟に対応していくことが求められます。

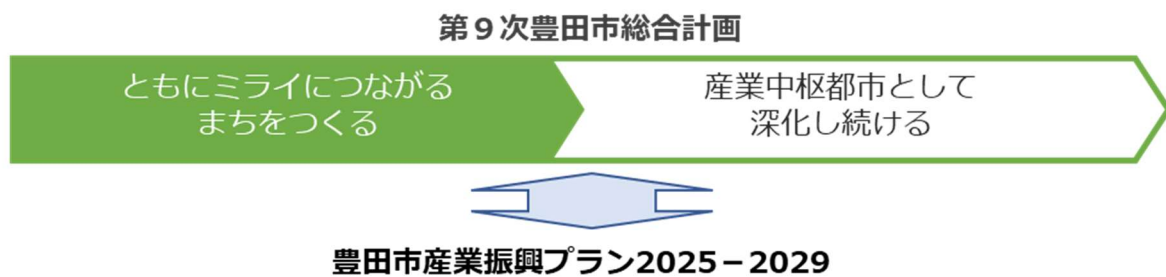
また、本市では、環境配慮と利便性を合わせた小型モビリティの開発、ドローン技術を生かした「空飛ぶクルマ」など、スタートアップによる新たなモビリティ開発が進められています。市内事業者においては、このような新たなモビリティ開発へ対応していくことも、自動車産業の構造転換に備える上で重要であり、スタートアップと市内事業者の協業・連携といったオープンイノベーションを促進することも求められます。

基本理念

「挑戦と持続的な発展」

市内事業者が有する固有の強みを自ら把握・認識した上で、社会や産業の潮流に応じて、新規事業の推進や取引先への提案、職場環境の改革、積極的な採用活動等へ、意欲を持って挑戦ができる土壌を形成します。また、想定外の構造転換や技術革新などが生じる可能性のある不確実性の高い中でも、変化を前向き・柔軟に受容し、脱炭素やデジタル化等の社会的要請に応えながら、産業構造を高度化し、地域産業の持続的な発展を目指します。

施策体系



基本方針	基本施策
1. 地域産業の持続的発展	1 事業基盤の整備と強化
	2 成長産業の創出
2. GX・DXの推進	3 GXへ向けた取組への支援
	4 DXへ向けた取組への支援
3. 人材確保への支援・多様な働き方の促進	5 産業人材の担い手確保と育成への支援・多様な人材活躍や柔軟な働き方に向けた就労支援
4. 新たな事業展開の促進	6 新事業展開やイノベーション創出の支援
	7 新たなプレイヤーの活躍促進

指標

基本施策の推進による成果（豊田市の産業振興）を測るために参考とする指標として、「注視する指標」と「参考指標」を定めます。また、基本施策に係る主な取組の推進による成果を測るための指標として、基本施策ごとに「評価指標」を定めます（参考指標・評価指標についてはプラン本編に掲載）。

注視する指標	出典	基準値	目標
製造品出荷額等（製造業）	経済構造実態調査 製造業事業所調査	16兆8,144億円 (2023年6月)	5か年で7%増加
豊田市内の労働力率	国勢調査	65.9% (2020年)	5か年で現状維持～1%の増加
産業部門の年間CO ₂ 排出量の推移（製造業、農林水産業、鉱業、建設業）	豊田市環境報告書	1,919,785t (2013年) 1,506,014t (2020年)	2013年度比 －45%

基本方針 1 地域産業の持続的発展

ものづくり産業の集積地としての強みを生かし、100年に一度といわれる自動車産業の変革期にもしなやかに対応できるよう、電動化や自動運転などの技術開発支援や人材育成・確保、経営力強化など、市内事業者の事業基盤整備・強化を図ります。また、新たな産業用地の整備や設備投資支援などを通じて、ソフトウェア、エネルギーなど成長産業の誘致・育成を図ります。

基本施策 1 事業基盤の整備と強化

主な取組①：次世代自動車等への対応（技術開発支援）

市内事業者における電動化や自動運転等の次世代自動車に関する技術開発や事業開発に関する取組を支援します。

■ 関連施策・事業：ものづくり創造補助金、設備投資奨励金、とよたイノベーションセンター事業

主な取組②：経営力強化

情報発信など市内事業者の販路開拓に向けた取組を支援します。

■ 関連施策・事業：経営力強化支援補助金（販路拡大）

主な取組③：事業承継支援

企業価値評価支援により、M&Aを含む円滑な事業承継や事業譲渡・売却を支援します。

■ 関連施策・事業：経営力強化支援補助金（事業承継 M&A）、とよた事業承継プラットフォーム、市内事業者資金繰り支援制度など

主な取組④：サプライチェーン強靱化の支援

共同配送や荷待ち・荷役時間短縮、省人化に向けた設備導入等、物流効率化に向けた取組を支援します。

■ 関連施策・事業：（仮称）省人化設備導入補助金

主な取組⑤：生産性向上や省人化に向けた支援

新たな設備の導入や設備更新による生産性向上や省人化への取組に対して支援します。

■ 関連施策・事業：設備投資奨励金、（仮称）省人化設備導入補助金 など

基本施策 2 成長産業の創出

主な取組①：成長産業の誘致と育成

将来的な市場規模の拡大が期待できる成長産業の誘致又は育成に向け、不動産取得や設備投資などに対して県内トップレベルの優遇策をもって強力に支援します。

■ 関連施策・事業：成長産業立地奨励金

主な取組②：産業用地整備の推進

成長投資の受皿として、市内における産業用地整備事業などを推進します。

■ 関連施策・事業：東 IC 産業用地整備事業・その他地区での産業用地整備事業

主な取組③：民間企業による開発事業の支援・促進

民間事業者による産業用地開発における迅速な土地利用を支援します。

■ 関連施策・事業：（仮称）用地取得補助金、新あいち創造産業立地補助金、企業立地道路整備補助金、企業立地マッチング制度など

奨励金制度を活用した工場の例



基本方針 2 GX・DXの推進

脱炭素化やデジタル化など、本市のものづくり産業の競争力を維持・発展させていくために必要不可欠な取組を促すため、それらの導入にあたっての補助、製品・技術開発支援、プラットフォームを基盤とした企業間ネットワークの構築などを図るとともに、専門的な知見を有する人材の育成・確保を進めることで、ノウハウの蓄積を図ります。

基本施策 3 GX へ向けた取組への支援

主な取組①：カーボンニュートラルの取組支援

自家消費型の太陽光発電設備の導入など、市内事業者の脱炭素化に向けた取組を支援します。市内事業者からのカーボンニュートラルや省エネ等に関する相談に対応する窓口で、カーボンニュートラルの実現を支援します。

■関連施策・事業：カーボンニュートラル取組促進事業、新エネルギー活用促進補助金 など

主な取組②：先進的な GX 関連技術・次世代エネルギーの導入支援

水素関連技術を活用した新たな設備導入に向けた取組を支援します。市内事業者の外部給電機能付次世代自動車（PHV・EV・FCV）の導入を支援します。

■関連施策・事業：新エネルギー活用促進補助金、
事業者向け次世代自動車普及促進事業補助金（環境部）

基本施策 4 DX へ向けた取組への支援

主な取組①：多様なステークホルダーが参画するプラットフォームによる企業間ネットワークの促進

豊田市 DX 推進プラットフォームへの市内事業者の参画を促進するとともに、同プラットフォームを基盤とした企業間ネットワーク等の構築を促進します。

■関連施策・事業：豊田市 DX 推進プラットフォーム

主な取組②：DX に向けたデジタル化の促進

デジタル技術を浸透させ、仕事をより良いものへと変革することを目指し、業務に対してデジタル技術を追加し、効率化・高価値化に向けた支援に取り組みます。

■関連施策・事業：（仮称）デジタル化補助金、（仮称）事業者ポータル など

主な取組③：デジタル人材育成

DX 人材の育成に向けた研修プログラムの実施、セミナー、研究会の開催、専門家派遣による人材育成支援などに取り組みます。

■関連施策・事業：豊田市 DX 推進プラットフォーム、とよたイノベーションセンター事業、デジタルスキルアップ研修

基本方針3 人材確保への支援・多様な働き方の促進

少子高齢化・人口減少に伴い、働き手の確保が一層厳しくなることが見込まれることから、従業員を経営を支える重要なリソース（資源）とみなし、そのスキル・能力を最大限に引き出し、生かす人的資本経営を推進します。多様な働き方ができる環境整備などを進め、従業員の満足度を高めるなど魅力ある就労環境を実現し、必要な人材の確保につなげていきます。

基本施策5 産業人材の担い手確保と育成への支援・多様な人材活躍や柔軟な働き方に向けた就労支援

主な取組①：人材（働き手）の確保・こどもを始めとする将来の担い手へのキャリア支援

人材確保（育成）に関する包括的な支援体制を構築し、地元中小企業の人材確保に向けた取組を支援します。外国人や障がい者の雇用支援など、多様な人材の活躍に向けた取組を実施します。

■関連施策・事業：人材活躍支援補助金、外国人就労支援事業、中高年者就労支援事業、ショートタイムワーク支援事業、若年者人材確保・育成事業、働く女性応援事業、多様な人材活躍推進事業、山村地域産業人材確保事業 など

主な取組②：求職者や就業者へのスキルアップ支援

求職者や市内企業従業員を対象としたスキルアップ研修や、新規事業創出などのアントレプレナーシップマインドを育成する講座等を実施します。市内企業が実施する人材育成を支援します。

■関連施策・事業：人的資本経営推進事業、デジタルスキルアップ研修事業 など

主な取組③：働き方改革推進

従業員が多様な働き方を選択できるよう、事業者の状況に応じて、テレワーク等に必要な設備投資（機器、システム、ソフトウェア）導入に対して支援します。バリアフリーなど包括的な職場環境実現に向けた施設・設備に必要な費用等を補助します。

■関連施策・事業：働き方改革推進支援補助金、女性しごとテラスの運営、働きやすい職場づくり推進事業所確認・公表制度、はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰 など

働く女性応援事業（女性起業家支援の取り組み）

とよたで女性の起業 できます。
プロジェクト2024
TO THE NEXT STAGE.

スケールアップの準備や、ライフスタイルに合わせた事業の転換など、次のステージに向けて更なる一歩を踏み出すことを目的とした、約半年間の女性起業家向け支援プロジェクト。
不安を自信に、迷いを決意にかえられるよう、各種セミナー開催や様々な人と繋がるきっかけ作りを実施します。



基本方針4 新たな事業展開の促進

市内事業者の競争力強化、新事業展開などを促すため、新規事業開発や、販路拡大などに向けた支援を行います。また、スタートアップ等と市内企業との連携・協業によるオープンイノベーションの支援や本市産業を牽引する新たなプレイヤーを育成・支援していくことで、持続的なイノベーションの創出につなげていきます。

基本施策6 新事業展開やイノベーション創出の支援

主な取組①：新規事業創出の支援

市内事業者が新規事業開発のノウハウ等を学ぶことができる伴走支援プログラムを実施します。

■関連施策・事業：新規事業創出支援事業「SPARK」 など

主な取組②：販路開拓・拡大支援

協業等による新規事業開発や販路開拓・拡大、事業提携等を促す交流イベント等を実施します。

■関連施策・事業：ピッチイベント、とよたビジネスフェア、豊田ものづくりブランド など

主な取組③：新産業育成のための研究開発支援

市内事業者やスタートアップによる新製品・新技術開発、新たなビジネスモデルの構築に向けた研究開発に対する支援や、新事業展開、イノベーション創出の担い手となる人材の育成・確保を支援します。

■関連施策・事業：次世代航空モビリティ産業化推進事業、ものづくり創造補助金、ものづくりミライ塾 など

基本施策7 新たなプレイヤーの活躍促進

主な取組①：新たなプレイヤーと市内企業の連携・協業

スタートアップと市内事業者との連携・協業などによるオープンイノベーションを促進するため、STATION Ai 等との連携を深めるとともに、スタートアップに必要な支援体制を構築します。

■関連施策・事業：新規事業創出支援事業「SPARK」、ものづくり創造補助金、とよたイノベーションセンター事業 など

主な取組②：イノベーションが生まれ続けるエコシステムの構築

スタートアップ等の新たなプレイヤーを育成・支援する事業を実施するほか、金融機関を始めとする支援機関との出会いの場の創出等、新たなプレイヤーが生まれ、活躍することのできるエコシステムを構築します。

■関連施策・事業：アクセラレータープログラム、(仮称) SENTAN エコシステム構築事業 など

■ ■計画の推進に向けて■ ■

1 計画の進捗管理

本プランは、前回プランと同様に「第9次豊田市総合計画」との整合を図り、評価指標を活用し、進捗を管理します。なお、前回プランよりも本プランの計画期間が1年長いことから、毎年、評価指標等をもとに進捗評価をおこない、社会情勢等を踏まえて事業の新設、統廃合などの見直しをおこなうものとします。

(プランの進捗管理イメージ)



2 計画推進体制

本プランの推進にあたっては、庁内関係部局との連携により、目指す姿の実現に取り組めます。また、「豊田市産業振興委員会」からの助言を得ながら、本プランの効率的かつ効果的な推進を図ります。

(プランの推進イメージ)



豊田市産業振興プラン 2025-2029 概要版

2025年3月

豊田市産業部産業労働課

TEL 0565-34-6641

MAIL sangyou@city.toyota.aichi.jp

豊田市産業部次世代産業課

TEL 0565-47-1250

MAIL monozukuri-sozo@city.toyota.aichi.jp